

# 高等学校における（難聴の生徒を対象にした） 「通級による指導」について

（高校在学中のAさん）



- ・高校生活、自分なりに授業も部活も頑張っている。でも、少し困っていることがある。
- ・聞こえにくさのある自分に合う勉強方法を探りたい。
- ・進学、就職に向けて、考えたり調べたりしたい。
- ・自分の「聞こえ」について理解してくれる先生と話してみたい。
- ・友達ともう少し上手くコミュニケーションをとりたい。

（この春に高校へ入学するBさん）



- ・高校の授業の進度や内容の難しさに少し不安がある。
- ・高校の一斉授業や集団生活で困ることがないか、少し不安がある。
- ・補聴援助システム（ロジャー等）をどんなふうに使うとよいか相談しておきたい。
- ・クラスで、自分の障がいについて伝えた方がいいのか悩んでいる。

一緒に  
考えましょう！



## 1 「通級による指導」って何？

- ・通常の時間割に加え、年間を通じて定期的に放課後等を利用して個別授業（自立活動）を行います。
- ・高校生活や将来のこと、自己の聞こえに関する事など一緒に考えます。
- ・指導は県立ろう学校教員が担当し、皆さんが在籍する高校を訪問します。
- ・授業日は、高校のスケジュール（行事やテスト期間、部活動大会等）を見ながら相談して決めます。

	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限	〇〇高校 時間割のイメージ				
4限					
5限					
6限					
7限			通級指導		

## 2 授業内容は？

- (例) ・学習や学校生活における困りごとへの対応  
授業や試験等における支援内容について  
ノートテイクが必要な授業科目について  
集会や校外活動時の補聴援助システム（ロジャー等）の使用方法について  
資格試験における合理的配慮の申請方法について 等
- ・進路決定に向けて  
将来の職業選択に向けた進路学習  
大学等の入試や就職試験で求める支援内容について  
大学等の障がい学生支援室の支援内容について
  - ・コミュニケーションや人間関係の困りごとへの対応  
聞き取りにくくなる状況や場面と対応方法について

高校を訪問します。  
週1回または2週間に1回  
お会いしましょう！



## 3 授業開始までの流れ **授業を体験してから決定できます**



（新入生） まずは高校生活に慣れてから。その後、「通級による指導」を受けようかどうかを検討していきます。

（在校生） 「通級による指導」を希望する場合は、担任や特別支援教育コーディネーター等にご相談ください。